

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

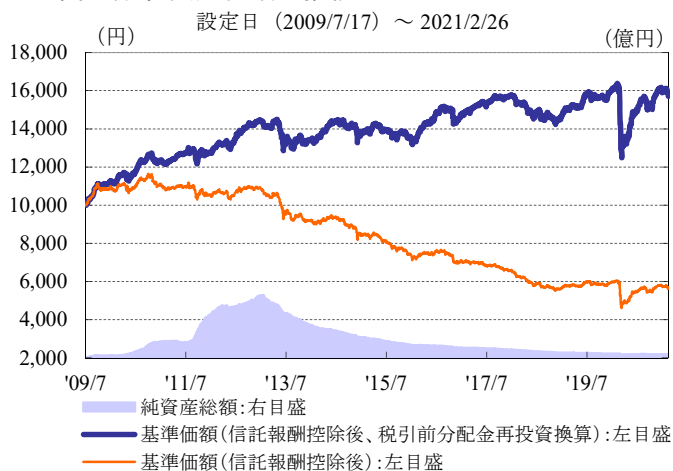
(1/19)

2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・円コース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	5,635円
純資産総額	44.4億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-1.6%
3ヵ月	-0.6%
6ヵ月	1.5%
1年	-2.2%
3年	1.9%
5年	15.3%
設定来	57.1%

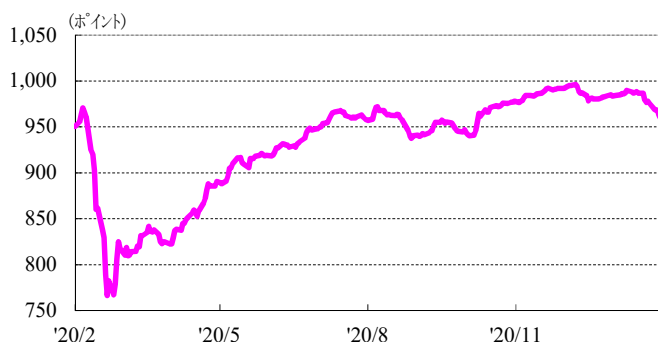
◆分配金推移

決算	分配金
第132期('20/9)	15円
第133期('20/10)	15円
第134期('20/11)	15円
第135期('20/12)	15円
第136期('21/1)	15円
第137期('21/2)	15円
設定来	8,755円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバシファイド
JPモルガンEMBIグローバル・ダイバシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考>基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	-106円
分配金	-15円
為替要因	-1円
債券要因等	-83円
信託報酬等	-7円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-0.2%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません
※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります
※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

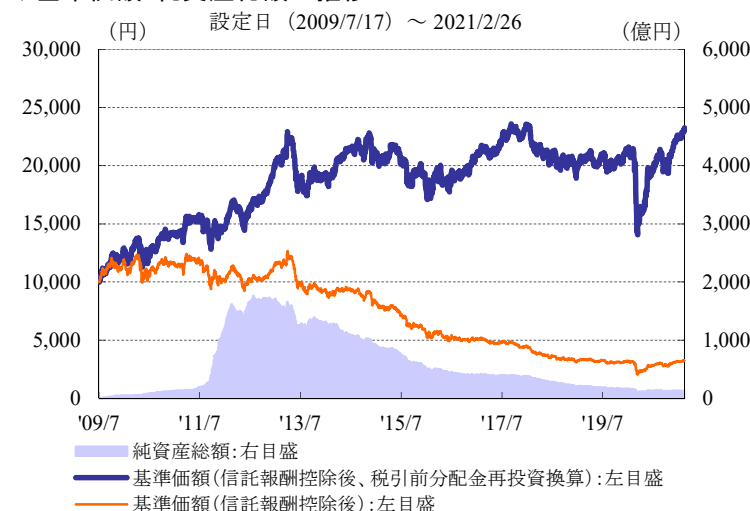
(2/19)

2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	3,267円
純資産総額	128.2億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.9%
3ヵ月	9.1%
6ヵ月	10.7%
1年	13.3%
3年	6.2%
5年	28.4%
設定来	132.5%

◆分配金推移

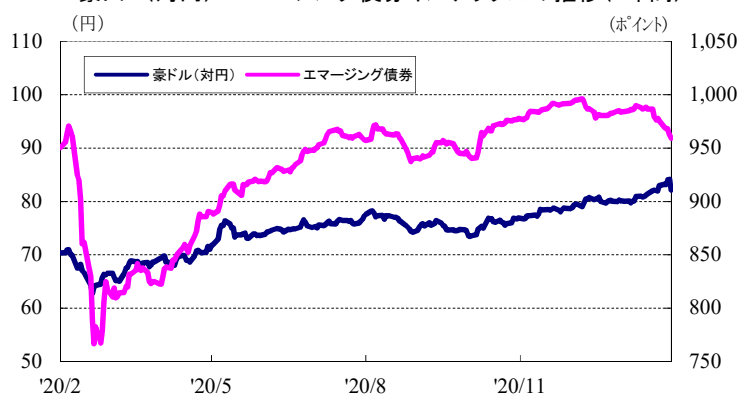
決算	分配金
第132期('20/9)	10円
第133期('20/10)	10円
第134期('20/11)	10円
第135期('20/12)	10円
第136期('21/1)	10円
第137期('21/2)	10円
設定来	14,940円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

豪ドル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	+114 円
分配金	-10 円
為替要因	+176 円
債券要因等	-48 円
信託報酬等	-4 円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-0.1%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーパブリックファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

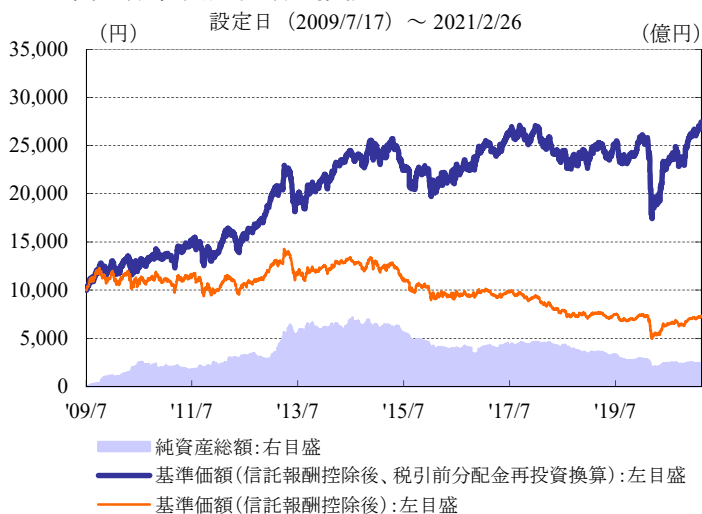
(3/19)

2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	7,344円
純資産総額	9.3億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	4.1%
3ヵ月	7.4%
6ヵ月	13.0%
1年	10.7%
3年	7.8%
5年	31.2%
設定来	174.3%

◆分配金推移

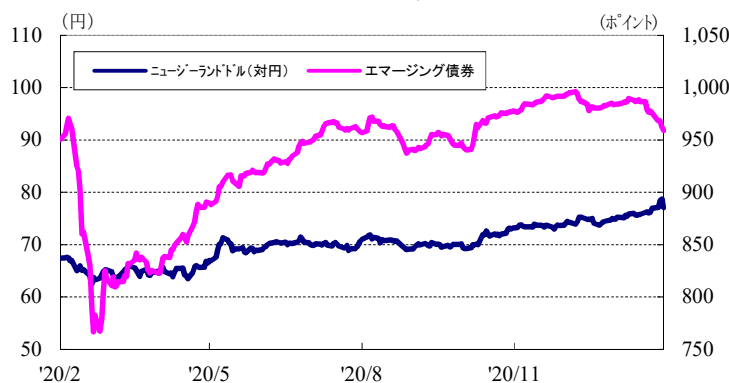
決算	分配金
第132期('20/9)	35円
第133期('20/10)	35円
第134期('20/11)	35円
第135期('20/12)	35円
第136期('21/1)	35円
第137期('21/2)	35円
設定来	13,570円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

ニュージーランドドル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	+252円
分配金	-35円
為替要因	+404円
債券要因等	-108円
信託報酬等	-9円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	-0.4%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーパブルファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(4/19)

2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2021/2/26



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	1,588円
純資産総額	136.3億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-1.2%
3ヵ月	-1.5%
6ヵ月	1.3%
1年	-21.7%
3年	-32.7%
5年	4.6%
設定来	41.0%

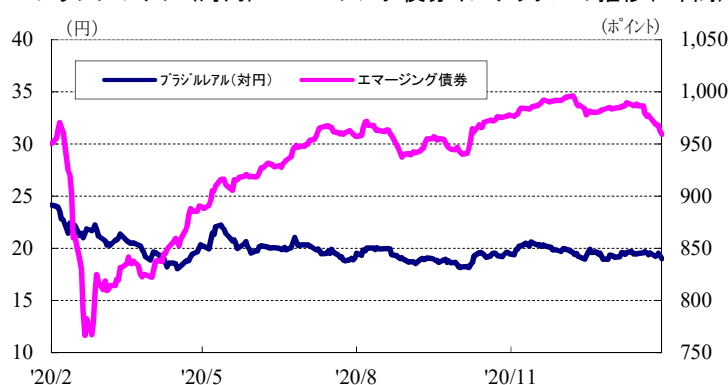
◆分配金推移

決算	分配金
第132期('20/9)	10円
第133期('20/10)	10円
第134期('20/11)	10円
第135期('20/12)	10円
第136期('21/1)	10円
第137期('21/2)	10円
設定来	13,320円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考>

ブラジルリアル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド
JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。
※当指数は当ファンドのベンチマークではありません
※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません
出所:Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	-29 円
分配金	-10 円
為替要因	+11 円
債券要因等	-28 円
信託報酬等	-2 円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	2.4%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件のもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネープールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(5/19)

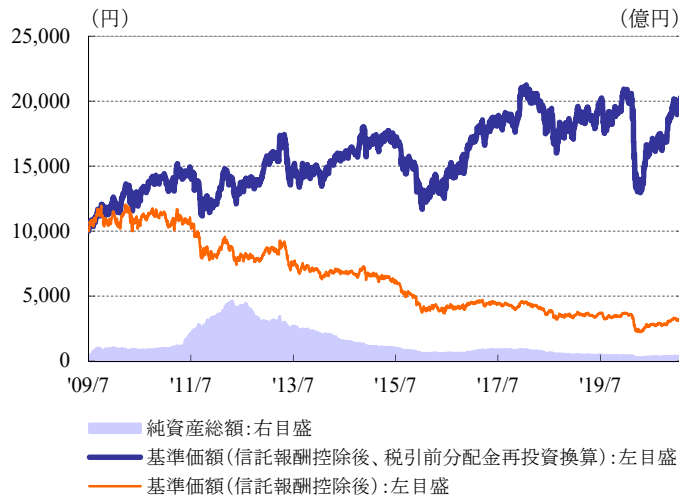
2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2021/2/26



◆基準価額・純資産総額

基準価額	3,242円
純資産総額	7.5億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.6%
3ヵ月	5.4%
6ヵ月	16.7%
1年	2.4%
3年	-4.0%
5年	60.6%
設定来	99.7%

◆分配金推移

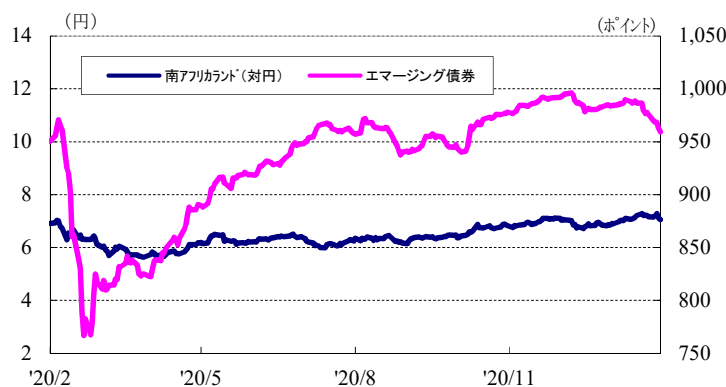
決算	分配金
第132期('20/9)	15円
第133期('20/10)	15円
第134期('20/11)	15円
第135期('20/12)	15円
第136期('21/1)	15円
第137期('21/2)	15円
設定来	12,110円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

南アフリカランド(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	+67円
分配金	-15円
為替要因	+127円
債券要因等	-40円
信託報酬等	-4円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	3.8%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(6/19)

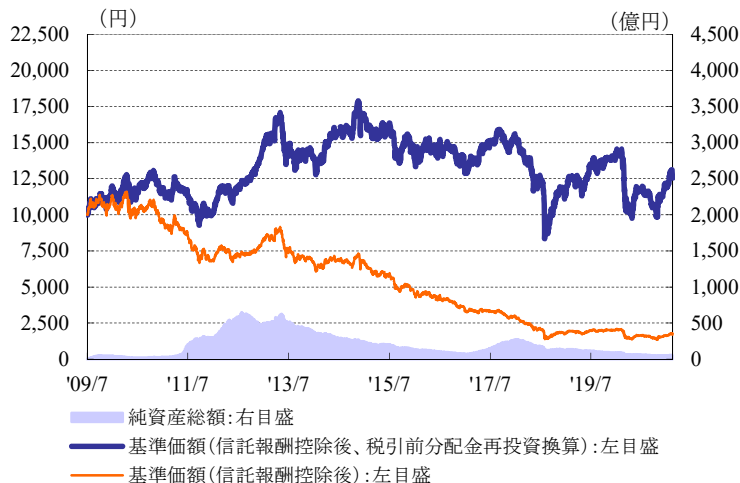
2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2021/2/26



◆基準価額・純資産総額

基準価額	1,711円
純資産総額	54.5億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.8%
3ヵ月	12.7%
6ヵ月	9.7%
1年	-9.4%
3年	-13.7%
5年	-10.8%
設定来	25.6%

◆分配金推移

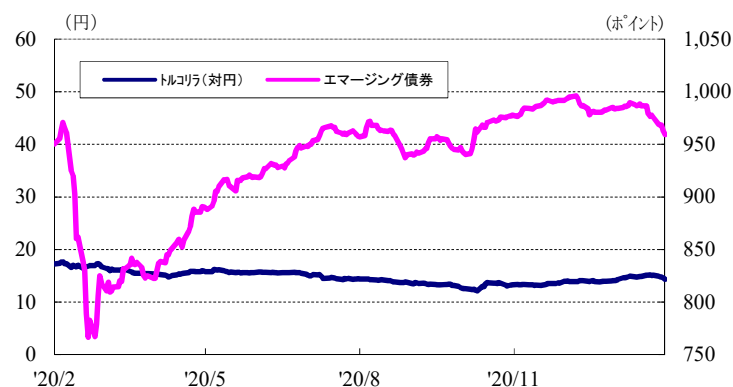
決算	分配金
第132期('20/9)	5円
第133期('20/10)	5円
第134期('20/11)	5円
第135期('20/12)	5円
第136期('21/1)	5円
第137期('21/2)	5円
設定来	11,285円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

トルコリラ(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバースファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバースファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	+42円
分配金	-5円
為替要因	+75円
債券要因等	-26円
信託報酬等	-2円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	15.2%
------------------	-------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(7/19)

2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2010/2/1)～2021/2/26



◆基準価額・純資産総額

基準価額	14,870円
純資産総額	3.0億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.8%
3ヵ月	4.3%
6ヵ月	10.2%
1年	5.4%
3年	10.4%
5年	33.0%
設定来	127.4%

◆分配金推移

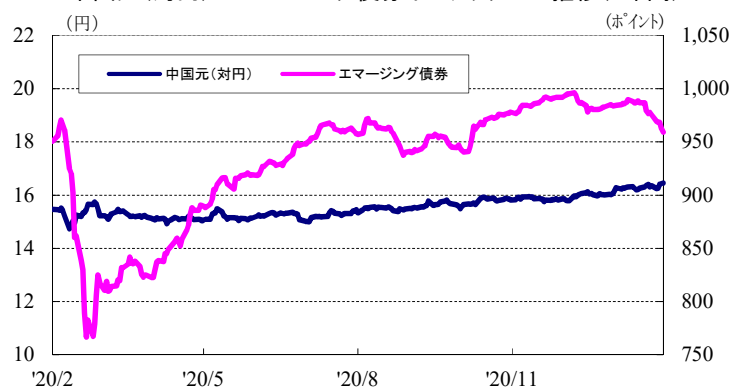
決算	分配金
第125期('20/9)	40円
第126期('20/10)	40円
第127期('20/11)	40円
第128期('20/12)	40円
第129期('21/1)	40円
第130期('21/2)	40円
設定来	5,280円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

中国元(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所:Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	+79 円
分配金	-40 円
為替要因	+369 円
債券要因等	-231 円
信託報酬等	-19 円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	3.4%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(8/19)

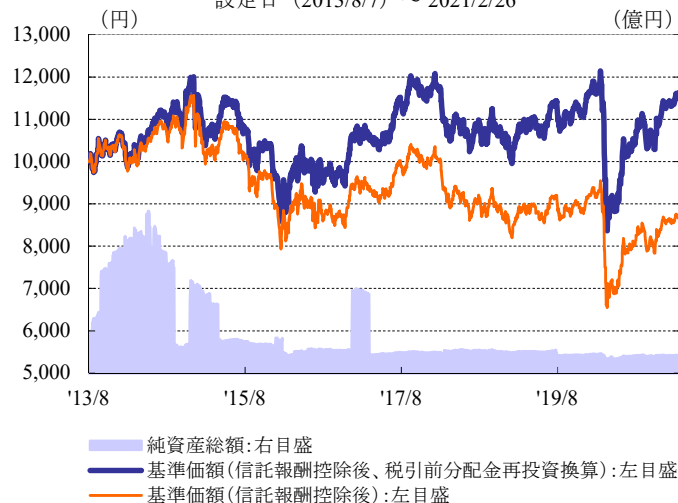
2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2013/8/7)～2021/2/26



◆基準価額・純資産総額

基準価額	8,736円
純資産総額	0.4億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.5%
3ヵ月	5.2%
6ヵ月	7.1%
1年	0.3%
3年	5.8%
5年	23.1%
設定来	16.2%

◆分配金推移

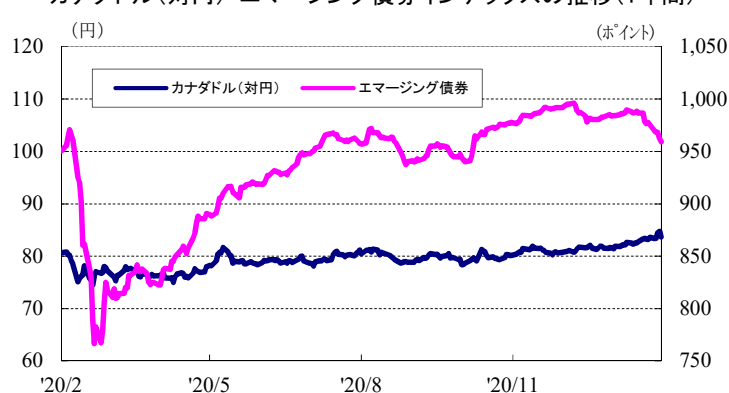
決算	分配金
第85期('20/9)	30円
第86期('20/10)	30円
第87期('20/11)	30円
第88期('20/12)	30円
第89期('21/1)	30円
第90期('21/2)	30円
設定来	2,640円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

カナダドル(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	+180円
分配金	-30円
為替要因	+351円
債券要因等	-130円
信託報酬等	-11円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	0.1%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(9/19)

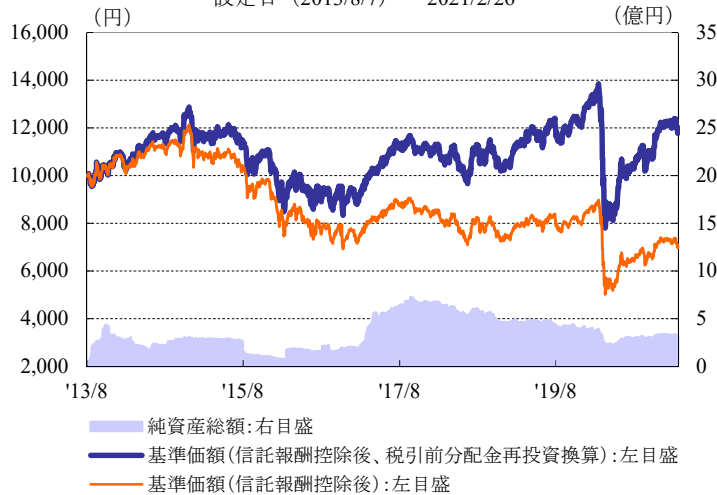
2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2013/8/7)～2021/2/26



◆基準価額・純資産総額

基準価額	6,970円
純資産総額	3.1億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-1.8%
3ヵ月	-1.0%
6ヵ月	9.3%
1年	-8.7%
3年	9.7%
5年	25.4%
設定来	17.8%

◆分配金推移

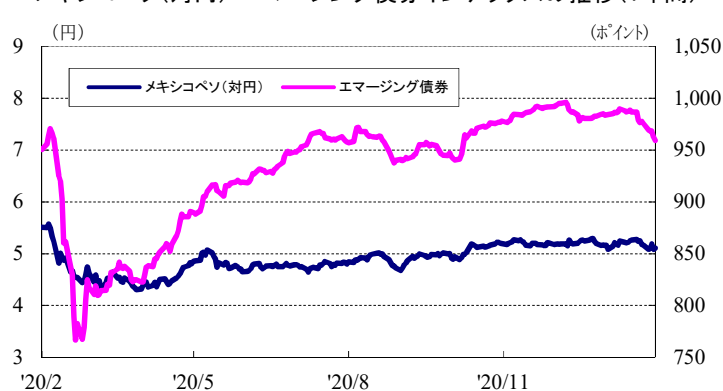
決算	分配金
第85期('20/9)	50円
第86期('20/10)	50円
第87期('20/11)	50円
第88期('20/12)	50円
第89期('21/1)	50円
第90期('21/2)	50円
設定来	4,400円

※決算は、毎月16日です(休業日の場合は、翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

<ご参考>

メキシコペソ(対円)・エマージング債券インデックスの推移(1年間)



※「エマージング債券インデックス」は、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン社が公表する債券指数(米ドルベース)です。1993年12月31日を100として算出されています。

※当指数は当ファンドのベンチマークではありません

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません

出所: Bloomberg

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年2月
基準価額騰落額	-174 円
分配金	-50 円
為替要因	-14 円
債券要因等	-101 円
信託報酬等	-9 円

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	3.4%
------------------	------

<ご参考>

最終利回り※※	5.6%
---------	------

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※為替取引によるプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レート等との価格差から簡便的に算出したものであり、実際の運用における数値とは異なります

※※最終利回りは、当ファンド(除くマネーボールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」が投資する債券の利回りであり、実際の投資家利回りとは異なります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(10/19)

2021年2月末現在

運用状況

当ファンド(除くマネー・プールファンド)が投資している「グローバル・エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」
(TRP Global Emerging Markets Bond Fund)の運用状況

※比率の合計は100%にならない場合があります

◆資産特性

デュレーション	7.8年
平均格付け	BB
直接利回り	5.4%
最終利回り	5.6%

※ファンドの最終利回りおよび直接利回りは実際の投資家利回りとは異なります

※デュレーションとは「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標です。「金利変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、この値が長いほど金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります

※平均格付けとは、基準日時点で当ファンドが保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付けではありません

◆地域別構成

地域	比率
中南米	33.6%
欧州	12.8%
アジア	19.5%
中東・アフリカ	30.2%
その他	1.7%
短期金融商品等	2.2%
合計	100.0%

◆国別構成

国名	比率
メキシコ	8.4%
インドネシア	5.4%
ブラジル	5.1%
ウクライナ	5.1%
ガーナ	4.2%
オマーン	3.5%
トルコ	3.3%
エジプト	3.3%
ベトナム	2.9%
スリランカ	2.8%
その他	53.8%
短期金融商品等	2.2%
合計	100.0%

◆格付別構成

格付け	比率
AAA	1.7%
AA	2.4%
A	3.6%
BBB	24.3%
BB	25.2%
B	29.0%
CCC	7.3%
CC	0.0%
C以下	0.0%
NR	4.2%
短期金融商品等	2.2%
合計	100.0%

◆債券種別構成

種別	比率
国債	79.4%
特殊債、社債等	18.4%
短期金融商品等	2.2%
合計	100.0%

※特殊債とは、国際機関債、政府機関債等を指します

※格付け記号の表記に当たっては、S&Pの表記方法で統一し、+、-の符号は考慮せず掲載しています

◆組入上位銘柄

<組入銘柄数 184 銘柄>

	銘柄	国名	種別	格付け	クーポン	償還日	組入比率
1	UKRAINE GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND	ウクライナ	国債	B	7.750%	2025/9/1	3.7%
2	PERTAMINA PERSERO PT	インドネシア	社債	BBB	6.000%	2042/5/3	2.9%
3	EGYPT GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND	エジプト	国債	B	8.500%	2047/1/31	2.8%
4	VIETNAM GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND	ベトナム	国債	BB	4.800%	2024/11/19	2.8%
5	MEXICO CITY AIRPORT TRUST	メキシコ	社債	BBB	5.500%	2047/7/31	2.4%
6	DOMINICAN REPUBLIC INTERNATIONAL BOND	ドミニカ共和国	国債	BB-	6.850%	2045/1/27	2.3%
7	PETROLEOS MEXICANOS	メキシコ	社債	BBB	5.625%	2046/1/23	2.3%
8	GHANA GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND	ガーナ	国債	B-	8.125%	2026/1/18	2.1%
9	EXPORT-IMPORT BANK OF INDIA	インド	社債	BBB-	3.375%	2026/8/5	2.1%
10	BAHAMAS GOVERNMENT INTERNATIONAL BOND	バハマ	国債	BB	7.125%	2038/4/2	2.1%

※格付けは、原則、S&P、Moody'sの格付けを採用。複数社の格付けがある場合は、原則として高い方を採用。格付け記号の表記に当たっては、S&Pの表記方法で統一し掲載しています

※比率はすべて純資産総額対比
※ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド提供データより作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(11/19)

2021年2月末現在

マーケットコメント

◆マーケットレビュー

2月のエマージング債券市場は、マイナスリターンとなりました。世界経済の継続的な回復に伴うインフレ期待が金利の上昇につながりました。一方、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は横ばいでした。ハイイールド債は投資適格債をアウトパフォームしたものの、両者ともマイナスリターンとなりました。ラテンアメリカ、アジアを中心に、すべての地域がマイナスとなりました。

米国では耐久消費財受注と小売売上高が急増しましたが、インフレに関する経済指標はまちまちでした。パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長は議会証言において、経済見通しの改善が見られたとしても資産購入プログラムをしばらくの間継続するとの方針を述べた派手的な姿勢を示しました。それにもかかわらず、長期の米国債利回りは2020年初頭の水準まで急上昇しました。一方、ラガルドECB(欧州中央銀行)総裁は、家計や企業への貸付に対する影響を考慮し、長期金利の上昇を注意深く監視していると述べました。中国は製造業・サービス業PMI(購買担当者景気指数)がわずかに低下したものの、拡大水準を維持しました。

メキシコ銀行(中央銀行)は、政策金利を0.25%引き下げて4%としました。同国経済を支えるための財政政策が限定的であるため、さらなる金融緩和が予想されます。インドネシア銀行(中央銀行)は、7日物リバースレポ金利を3.75%から3.50%に引き下げました。ただし、さらなる利下げ余地は限定的であると示唆しました。トルコ中央銀行は、再度の通貨安に伴い、準備預金の法定準備率引き上げなどによりトルコリラの流動性を引き締めました。ブラジルではディーゼルとガソリンの価格の高騰により、ボルソナロ大統領は燃料価格をめぐる対立していた国営ブラジル石油公社(ペトロブラス)のCEO(最高経営責任者)を更迭し、エネルギー業界での経験に乏しい元国防相を後任に据えたことで、投資家の信頼を失う恐れを招きました。南アフリカでは発表された2021年度予算の詳細が市場で好感されました。

◆運用動向

エクアドル、モンゴル、エルサルバドルはプラスとなりました。一方、インドネシア、カタール、ドミニカ共和国はマイナスとなりました。

◆今後の見通し

世界の経済成長の減速と「コロナ危機」は、エマージング国市場のファンダメンタルズ(基礎的条件)の重石となつていますが、各国における財政・金融支援措置が持続的な経済回復の下支えとなると見ています。いくつかの脆弱な国では厳しい状態が続く可能性が高いものの、大部分のエマージング国はこの状況を乗り越え、2021年も回復を続けることでしょう。需給環境は依然として良好で、新規発行市場も健全な状態が続いています。また、株式の割高感が高まり、金利が歴史的な低水準にある現在において、エマージング債券の持つ相対的に高いキャリー収入は引き続き投資家を魅了するでしょう。

ただし、ここ数ヶ月間でエマージング債券のバリュエーション(投資価値評価)は適正水準に近付いており、新型コロナウイルスをめぐる根深いリスクを考慮すると、世界経済の回復は依然として脆弱なものとなっています。また、将来的なインフレ高進と金利の上昇も潜在的な懸念材料です。このため、当ファンドはベンチマークに対してなお高い利回りを維持するものの、見通しやポジショニングについてはほぼ中立としています。

こうした中、当ファンドでは引き続きセネガル、ベトナム、ガーナなどのようにマクロ経済見通しが改善しているフロンティア国(経済成長率が高いものの小規模で流動性が低い国)や主要市場において自国のソブリン債と比べて高い利回りを有する準ソブリン債や厳選した社債については、魅力的な投資機会を模索しています。

ケニアなど構造的に脆弱な国の保有は低位を維持しているほか、ウクライナは利益確定のためオーバーウェイト幅を一部縮小しています。一部の湾岸諸国については、高ベータ(市場平均に対する感応度が高い)フロンティア国のポジションとのバランスを取るためウェイトを増やしていますが、基本、ロシア、中国、湾岸諸国といった低ベータの国のアンダーウェイトは継続する方針です。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者(ファンドマネジャー他)の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。※ディー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド提供データにより作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(12/19)

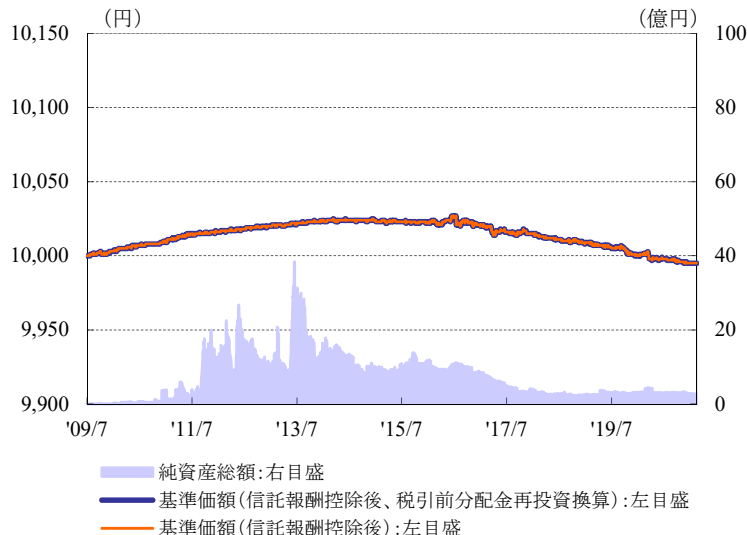
2021年2月末現在

エマージング・ボンド・ファンド(マネープールファンド)

追加型投信／国内／債券(課税上は株式投資信託として取り扱われます)

◆基準価額・純資産総額の推移

設定日(2009/7/17)～2021/2/26



※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※分配金は1万口あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆基準価額・純資産総額

基準価額	9,995円
純資産総額	2.7億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.0%
3ヵ月	0.0%
6ヵ月	-0.0%
1年	-0.1%
3年	-0.2%
5年	-0.3%
設定来	-0.1%

◆分配金推移

決算	分配金
第18期('18/7)	0円
第19期('19/1)	0円
第20期('19/7)	0円
第21期('20/1)	0円
第22期('20/7)	0円
第23期('21/1)	0円
設定来	0円

※決算は、1月、7月の16日です(休業日の場合は、翌営業日)

※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆資産構成

組入資産	比率
キャッシュ・マネージメント・マザーファンド	100.0%
短期金融商品等	0.0%
合計	100.0%

マネープールファンドの資産内容(キャッシュ・マネージメント・マザーファンド)

◆キャッシュ・マネージメント・マザーファンドの種別構成

種別	比率
国債	0.0%
地方債	2.1%
特殊債	55.2%
社債	6.4%
短期金融商品等	36.2%
合計	100.0%

日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入に伴い、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。これを踏まえ、マイナス利回りの債券についても購入および保有する場合があります。

◆キャッシュ・マネージメント・マザーファンドの組入上位銘柄

	銘柄	種別	組入比率
1	9 政保道路機構	特殊債	21.3%
2	1 政保地方公共団8年	特殊債	15.0%
3	149 政保道路機構	特殊債	5.6%
4	135 政保道路機構	特殊債	2.8%
5	14 政保政策投資銀行	特殊債	2.2%
6	34 東京瓦斯	社債	2.1%
7	145 政保道路機構	特殊債	2.1%
8	23-1 横浜市公債	地方債	2.1%
9	22 国際協力銀行	特殊債	2.1%
10	58 日本学生支援機構	特殊債	2.1%

＜組入銘柄数 13 銘柄＞

※比率はすべて純資産総額対比
※比率の合計は100%にならない場合があります

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(13/19)

ファンドの目的

[各ファンド（マネープールファンドを除く）]：主に米ドル建ての新興国の政府および政府機関等の発行する債券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。

[マネープールファンド]：安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

ファンドの特色

○当ファンドは以下のファンドで構成されています。

- ・エマージング・ボンド・ファンド・円コース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース（毎月分配型）
- ・エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース（毎月分配型）

※以下、各ファンド（マネープールファンドを除く）といいます。

- ・エマージング・ボンド・ファンド（マネープールファンド）

※以下、マネープールファンドといいます。

1. 各ファンド（マネープールファンドを除く）は、主に米ドル建ての新興国の政府および政府機関等の発行する債券を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。
2. 為替取引手法の異なる9つのコースとマネープールファンドがあり、各ファンド間でスイッチングが可能です。
3. 各ファンド（マネープールファンドを除く）は、毎月の決算時に分配を目指します。
 - ・各ファンド（マネープールファンドを除く）の決算日は毎月16日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

マネープールファンドの特色

1. マネープールファンドは、キャッシュ・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
 - ・マネープールファンドへの取得申込みは、マネープールファンドを除く通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドのファンドからスイッチングした場合に限定します。また、通貨選択型エマージング・ボンド・ファンドに新たなファンドが追加された場合は、当該ファンドがスイッチングによるお買付対象ファンドに追加されることがあります。
 - ・スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
2. マネープールファンドは、年2回の決算時に分配金額を決定します。
 - ・マネープールファンドの決算日は毎年1月、7月の16日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - ・委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

○当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

○運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

○投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。

○当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

各ファンド（マネープールファンドを除く）

■流動性リスク ■金利変動に伴うリスク ■信用リスク ■為替リスク ■カントリーリスク

マネープールファンド

■流動性リスク ■金利変動に伴うリスク ■信用リスク

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(14/19)

下記は投資信託における「分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が
支払われるイメージ

投資信託の純資産

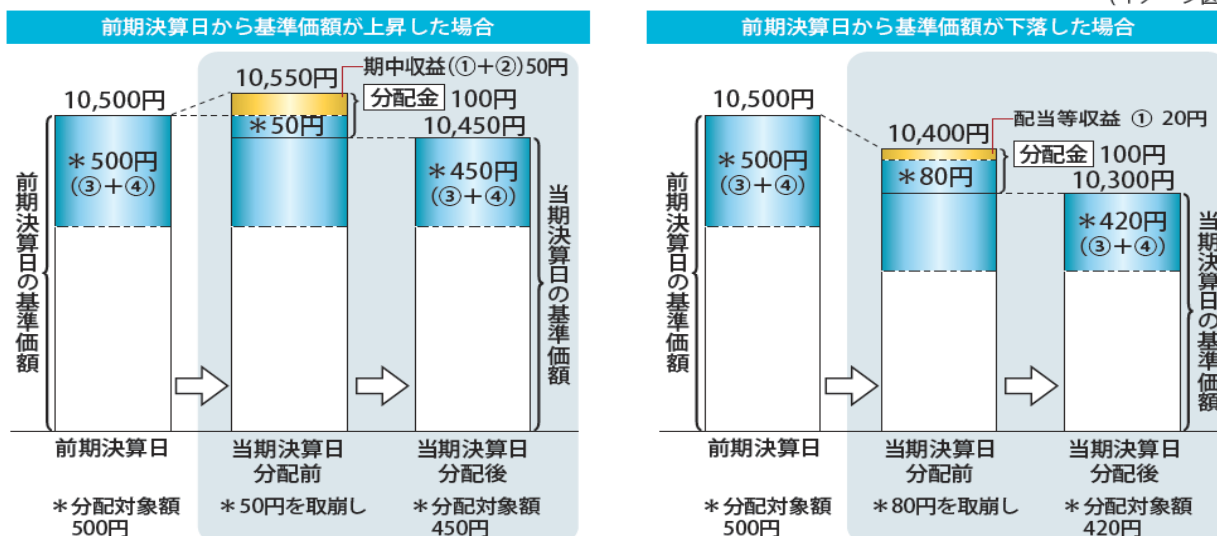
分配金

(イメージ図)

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

(イメージ図)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

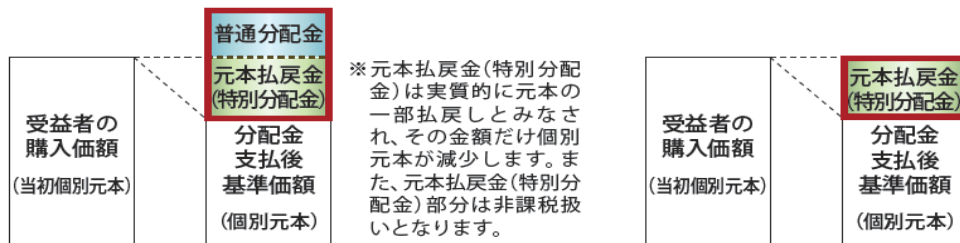
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

(イメージ図)

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

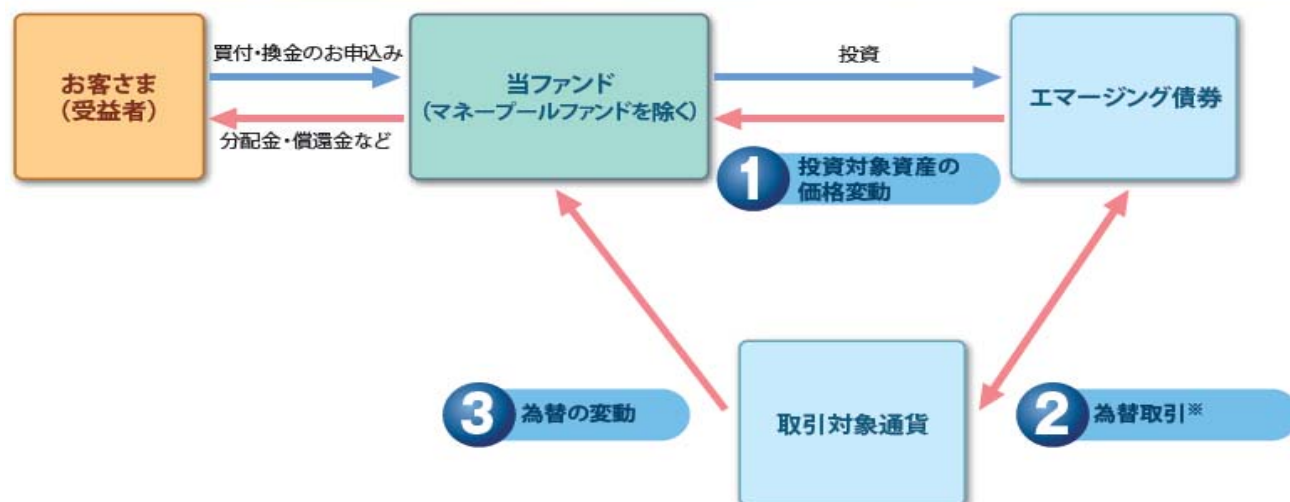
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- ◆ 当ファンド(マネープールファンドを除く)は主に米ドル建てのエマージング債券への投資に加えて、為替取引を活用して運用を行うよう設計された投資信託です。

当ファンド(マネープールファンドを除く)のイメージ図



※取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- ◆ 当ファンド(マネープールファンドを除く)の収益の源泉は以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益の源泉に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	収益を得られるケース	損失やコストが発生するケース
1 エマージング債券の利息収入、 値上がり/値下がり	債券価格の上昇 金利の低下 債券の発行体の信用力上昇	債券価格の下落 金利の上昇 債券の発行体の信用力低下
2 為替取引による プレミアム/コスト	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利	コスト(金利差相当分の費用)の発生 取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利
3 為替差益/差損	為替差益の発生 取引対象通貨に対して円安	為替差損の発生 取引対象通貨に対して円高

※円コース(毎月分配型)は、原則として対円での為替取引を行い為替変動リスクの低減に努めます。

※過去の事実から見た一般的な傾向を表したものであり、上図のとおりにならない場合があります。

■ 当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■ 投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■ 投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■ 投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■ 当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■ 当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(16/19)

ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
購入価額に3.3%(税抜き3.0%)を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
[マネープールファンド]
ありません。
※マネープールファンドへの取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。
※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
- 信託財産留保額 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.1%を乗じた額です。
[マネープールファンド]
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

各ファンド(マネープールファンドを除く)

ファンド

ファンドの純資産総額に年1.628%(税抜き1.48%)の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

<運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜き)>

支払先	料率	役務の内容
委託会社	年0.85%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	年0.60%	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	年0.03%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。

投資対象とする
投資信託

年0.09%程度*

実質的な負担

ファンドの純資産総額に対して年1.718%(税抜き1.57%)程度*

* 当ファンドが投資対象とする投資信託の管理報酬等には関係法人により下限金額が設定されているものがあり、ファンドの純資産総額等によっては、年率換算で上記の料率を上回る場合があります。

マネープールファンド

- ファンドの純資産総額に以下の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
- 信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日間の無担保コール翌日物レートの平均値に0.66(税抜き0.60)を乗じた率とし、当該月の第1営業日の計上分より適用します。ただし、年0.66%(税抜き0.60%)を上限とします。

<運用管理費用(信託報酬)の配分>

支払先	純資産総額に上記の率を乗じた額を下記の比率で配分します	役務の内容
委託会社	45%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	45%	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	10%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

次ページに続きます。必ずご確認ください。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(17/19)

ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください）

前ページからの続きです。必ずご確認ください。

● その他の費用・手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。
--------------	---

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ（詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください）

- 信託期間 [円コース、豪ドルコース、ニュージーランドドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、マネープールファンド]…2024年7月16日まで(2009年7月17日設定)
[中国元コース]…2024年7月16日まで(2010年2月1日設定)
- 購入単位 [カナダドルコース、メキシコペソコース]…2024年7月16日まで(2013年8月7日設定)
お申込みの販売会社にお問い合わせください。
※マネープールファンドの取得申込みは、各ファンド(マネープールファンドを除く)からスイッチングした場合に限ります。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
[マネープールファンド]
換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 申込不可日 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。
 - ニューヨーク証券取引所の休業日
 - ニューヨークの銀行の休業日
 - 英国証券取引所の休業日
 - ロンドンの銀行の休業日
- 決算日 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
毎月16日(休業日の場合は翌営業日)
[マネープールファンド]
毎年1月、7月の16日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 [各ファンド(マネープールファンドを除く)]
年12回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。(委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。)
[マネープールファンド]
年2回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。(委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。)
(共通)
分配金受取りコース:原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。
分配金自動再投資コース:原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(18/19)

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社およびその他の関係法人

- 委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)
三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会 / 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
- 受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)
三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社
次頁の販売会社一覧をご覧ください。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド

(19/19)

販売会社一覧

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○		
株式会社あおぞら銀行(※2)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		
株式会社イオン銀行(※1)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
SMBC日興証券株式会社(※2)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)(※2)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○
寿証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第7号	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	○		
株式会社新生銀行(※3)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

(※1) インターネットのみのお取り扱いとなります。

(50音順)

(※2) 新規の募集の取り扱いおよび販売業務は現在行っておりません。

(※3) 電話・インターネットのみのお取り扱いとなります。

※ マネープールファンドの取得申込みは、各ファンド(マネープールファンドを除く)からスイッチングした場合に限ります。

※ 販売会社によっては、スイッチングのお取り扱いがない場合があります。詳しくは各販売会社にお問合せください。

※ 販売会社によっては、お取り扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問合せください。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。